様式３(2020.08改)

作成日　令和３年12月５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300246
事業所名	グループホーム東栄の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍でボランティアや小中学生の来訪もなく、外出もままならない状況ですが、地域から食材を購入するなどの交流に努めてきました。そんな中、地域包括支援センターが移動動物園を招いてくださり、利用者が普段目にすることのない山羊、陸亀、鷹、兎などに親しむことが叶っています。以前の来訪で「長生きするよ」との声に励まされて白蛇を首にかけた利用者が103歳となり、今回「長生きするぞ！」と新たに首にまいた人もでて、賑わう時間を過ごすことができています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	行政をはじめ地域や家族代表をメンバーとして隔月で運営推進会議を開催、2ヶ月の行事や利用者の様子などの事業所報告の後はコロナ対策の意見交換が自然に 始まる展開となっています。地域包括支援センターのセンター長は前職が医療センターの師長ということもあって、感染症をはじめ医療の疑問点やイロハをメンバーにわかりやすく教えてくださり、また管理者も利用者の気になる症状に適切な助言をもらえ、大変有意義な場となっています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	町には運営推進会議に協力してもらえるほか、認定調査などで随時連絡を取り合っています。また東三河広域連合への提出書類の窓口でもあり、作成書面でわからないことがあれば質問することができる関係を築いています。ワクチン接種では「この日は何名～」とあらかじめアナウンスがあり、職員が利用者を医療センターに送迎した折りにもキャンセルがでると優先的に声が入り、また東栄町以外から勤務の職員も町で摂取対象としてもらえ、配慮を得ています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	幾つかの感染対策をクリアすることで最近は玄関で面会できるようになり、家族からは「ここで世話になれて安心」と言ってもらえてはいるものの、歓びいっぱい利用者の姿に事業所全体の慶事として皆の笑顔に実っています。またコロナ禍で娯楽が減っていることやADL維持を目的に、町の文化祭への展示を目指して作品制作を進めています。皆で協力して作り上げ、展示会場でMY作品との再会の喜びを味わってもらいたいと、今から気持ちが弾む取組みです。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									